



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

J R 東日本労働組合  
発行者 情報宣伝部  
2024 年 11 月 22 日 No.819

## 「車両関係社員新入社員基礎技術教育の実施方法について」の提案を受ける

東日本ユニオンは経営側より 11 月 22 日に会社提案「車両関係社員新入社員基礎技術教育の実施方法について」を受けました。

これまでメンテナンス近代化構想Ⅲ期の開始に伴い、2004 年度よりエリア職採用を対象に、新入社員基礎技術教育が実施されてきました。本提案は開始から 20 年以上が経過し、これまでも教育方法や実施方法等の見直しが行われてきましたが、社内外の環境が変化したことを踏まえ、教育内容を見直し、教育効果を高める体制を目指して、2025 年度以降の新入社員基礎技術教育から実施するとしています。

### <実施内容>

#### ◆受講対象者

車両メンテナンスに従事するエリア職採用の新入社員

#### ◆実施箇所及び内容

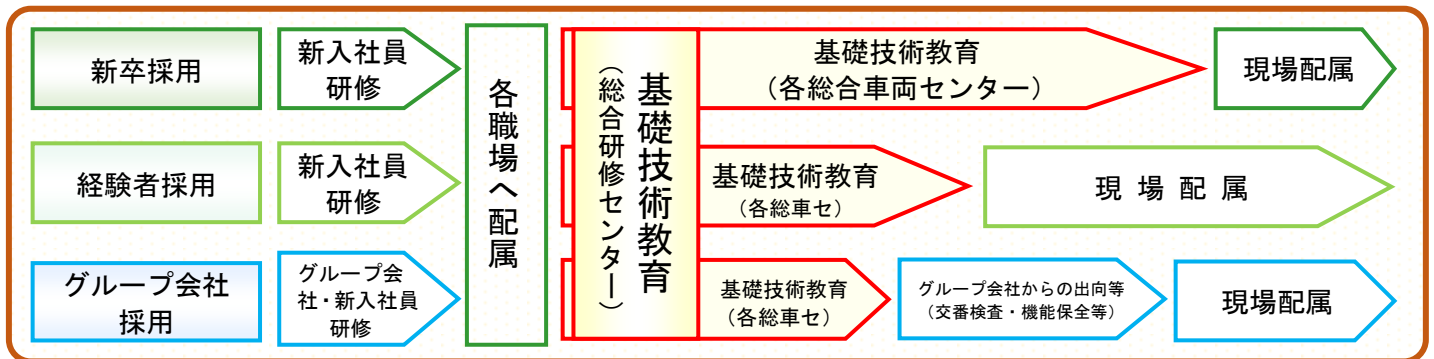
前号の対象者は総合研修センター及び各総合車両センター等において、基礎知識及び基礎技能等の習得を行う。なお、状況に応じて、一部の総合車両センター等に集約して教育を実施する場合があります。

### <実施日>

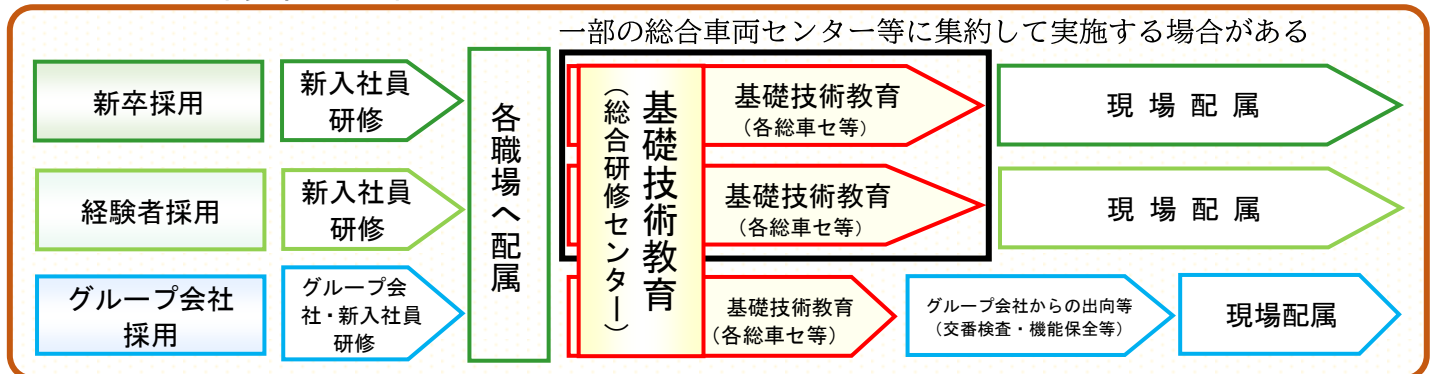
◆令和 7 年 4 月 1 日

## 【新入社員基礎技術教育スケジュールの比較】

### ◆現行



### ◆2025 年見直し以降



- 見直しを行う要因は、①採用人数の減少 ②車両形式が、ほぼ新系列車両（約 8 割）に置き換わったため
- 基礎技術教育の一部を標準化し、基礎技術教育の期間が短縮される ※現行 9 ヶ月→実施後は 5 ヶ月程度
- 2025 年度は、大宮総合車両センター（首都圏本部採用、新潟支社採用 ※一部 DC 等は郡山総合車両センター）郡山総合車両センター（東北本部採用）で基礎技術教育の実施を計画